

“考える力”“判断する力”を養う

河合塾未来研究プログラム ～科学と批判的思考力で未来を創ろう～

＜主催＞学校法人河合塾　＜協力＞株式会社リバネス、株式会社河合塾進学研究社

現在の学校教育は“唯一の正解が存在する教科書”から学ぶことが主体です。しかし実際の社会とは“唯一の正解が存在しない社会”です。このような社会を生き抜いていくためのひとつの力として、論理的かつ偏りなく考えていく「批判的思考力」のような力が必要不可欠と考えますが、教育現場で批判的思考を磨いていく態勢は十分に整っているわけではありません。

そこで河合塾は、中学生が未来の世界のために“正解のない様々な問題”に挑戦し、方向性を決めていくための知恵を生み出す教育プログラムとして、「河合塾未来研究プログラム」を開発しました。

対象 新中学
1～3年生

定員 12名

時間 180分×2日間

料金 3,000円(税込、当日払い)

日時

4月5日(土)6日(日)
9:30～12:30

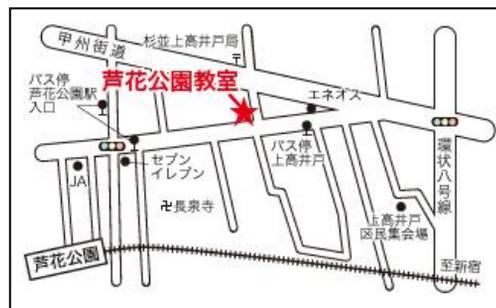
(注)2日間連続のプログラムです。
どちらか1日だけの参加はできません。

場所

河合塾Wings芦花公園教室

〒168-0074
杉並区上高井戸1-22-1 第1柏木ビル
TEL:03-5316-2540

アクセス
京王線/芦花公園駅 北口から徒歩5分



プログラム内容(予定)

2020年までにエネルギー自給型未来都市をつくろう！

＜テーマ:エネルギー＞

【ミッション】

エネルギーの消費が増え続ける現代。エネルギー資源の乏しい日本では現在、電力供給の92%を火力発電、6%を水力、2%を原子力でまかなっている。そのような中、政府は2020年までに再生可能エネルギーによる電力供給量を10%までに引き上げる目標を立てている。

みなさんはある町においてこの目標を達成するためには、今から何を準備すべきか、日本が注力する3エネルギー、太陽光・風力・廃棄物発電に着目して、町のエネルギー計画を立てるために知恵を貸してほしい。

■科学実験テーマ

色素増感型太陽電池※をつくろう！

※実用的な低コスト太陽電池として期待され、研究が進んでいる次世代型の太陽電池です。

■ディスカッションテーマ

ある町の再生可能エネルギーによる電力供給量を10%に引き上げるには？

